

女性作曲家 音楽祭 2007

..... Women Composers' Festival 2007

期間: 2007年8月6日(月)~8月10日(金)

場所: 杉並公会堂小ホール(客席194席)

August 6-10 (Mon.-Fri.), 2007 at Suginami Koukaidou

全12公演

8/6・7・10 室内楽・器楽コンサート(1日2公演)
(月) (火) (金) (開演時間/14:00、19:00)

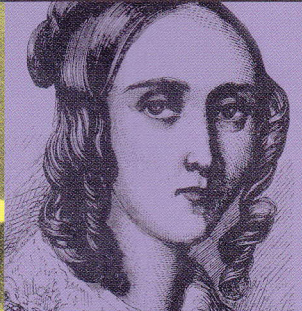
8/8・9 ピアノ曲マラソン・コンサート(1日3公演)
(水) (木) (開演時間/11:00、14:30、19:00)



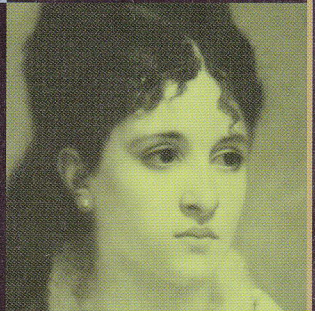
音楽における
本当の贅沢とは・・・
間近で一流の演奏に
接すること。
わずか194席の
会場での音楽祭。



昼間の
コンサートは
低価格に設定!



欧米の女性作曲家たち
(古典派~近代)の
栄光に再び
スポットライトを!



セシル・シャミナードの
生誕150年の
誕生日(8月8日)を
中心に5日間。



隣接する
グランサロンでは
女性作曲家と
その作品を知るための
催し物(無料)を予定!



5/15(火)
チケット発売
開始

企画監修/小林 緑(国立音楽大学教授)
主催/知られざる作品を広める会(代表:谷戸基岩)
後援/杉並区文化協会

〔チケット取り扱い〕
電子チケットぴあ/TEL:0570-02-9990(Pコード:258-075)
杉並公会堂/TEL:03-5347-4450
東京文化会館チケットサービス/TEL:03-5815-5452
知られざる作品を広める会/TEL:03-3331-4010

女性作曲家 音楽祭 2007

Women Composers' Festival 2007

欧米の女性作曲家たち(古典派～近代)の栄光に再びスポットライトを!

16世紀:52人、17世紀:69人、18世紀:184人、19世紀:1,103人... アーロン・コーエンが編纂した「女性作曲家事典(第2版)」(1987年刊)にはトータルで6,195名のいわゆるクラシック音楽の分野で作品を書いた女性作曲家たちが挙げられています。それらの中には優れた実力の持ち主が数多くいたにもかかわらず一般にはその存在が知られていません。その理由はただひとつ。無名ゆえにほとんど演奏されないためです。5日間合計12のコンサートを通じて、そうしたものを厳選し、心ゆくまで聴いていただきます。我が国では空前絶後となるであろう催しをくれぐれもお聴き逃しなきよう。

セシル・シャミナードの生誕150年の誕生日(8月8日)を中心に5日間。

今年はフランスの作曲家セシル・シャミナード(生誕150年)、マリー・グランヴァル(没後100年)、ノルウェーの作曲家アガーテ・バッケル＝グレンダール(没後100年)のそれぞれ記念年です。また来年はエセル・スマイスとメル・ボニスの生誕150年の記念年でもあります。彼女たちの作品を含め、今回は古典派～近代の作品を集中的に取り上げます。クラシック音楽というジャンルで演奏される頻度の最も高いこの時代にはどんな女性作曲家がいて、どのような作品を遺したのかをたっぷりと知っていただきます。

我が国の優れた演奏家たちとともに。

今日ではほとんど聴かれることのない女性たちの室内楽とピアノ曲。その魅力を十全に伝えるにはあくまで自然体で音楽を表現できることが要求されます。そこで、谷戸基岩が評論家として活動してきたこの12年間、およそ2,900のコンサートで聴いた我が国のアーティストたちの中からこれと思う方々にご登場いただきます。「地球規模で考え、地域的に行動する」はエコロジーの基本スローガンですが、日本人の演奏家を知り、その演奏にこだわるこそが今の我が国のクラシック音楽界にとって最も大切なことと私たちは考えます。(詳細は「なぜこれら32人の音楽家たちなのか」をご覧ください)

昼間のコンサートは低価格に設定!

ウィークデイの、しかも真夏の暑い昼間に会場にお出かけいただくのはとても大変なので、採算を度外視し、思い切って低価格にしました。ただし夏休み中に多く開かれる「親子コンサート」、「子供向けコンサート」のようなものではありません。くれぐれもご注意ください。

総合的に女性作曲家を知るための場を提供。

小ホールに隣接したグランサロンでコンサートの期間中、女性作曲家たちの海外盤CDや楽譜の即売も行います(入場無料)。ここに来れば女性作曲家に関する資料が揃う、総合的な勉強の場を提供いたします。またコンサートの合間にグランサロンで講演会も行います。

■なぜ杉並公会堂小ホールなのか

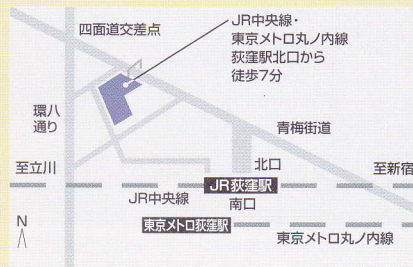
最近、首都圏では個人の住宅、小さなスタジオを利用したサロン・コンサートが盛んです。出来るだけ小さな会場で一流の演奏家によるクラシック音楽に間近で接すること...それは「聴覚上の快感」をリアルに体験することでもあります。そのために今回は敢えて19世紀の女性作曲家たちが活躍したサロンほどの小さなホールを会場に選択しました。簡素な場内です。

またピアノ曲マラソン・コンサートで長時間このホールの椅子に座ることを心配なさる方もいらっしゃると思います。何らかの対策を講じます。

杉並公会堂
Suginami Koukaidou

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
TEL: 03-3220-0401

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



■なぜこれら32人の音楽家たちなのか (谷戸基岩)

紙面の制約もあり、ここでは私の考える演奏者個々の特長、セールスポイント、演奏への期待などを手短かに記します。■内は出演するコンサートの番号。

ピアニスト



阿部裕之 10

昨年横浜みなとみらいホールで聴いたラヴェルは圧倒的だった。この作曲家のピアノ曲を長年探求してきた阿部の感性こそ、メル・ポニスの魅力を引き出すのに不可欠。



加藤洋之 9

単にピアニストとしてだけでなく、さまざまな音楽の場での豊富な経験に裏打ちされた作品への柔軟な解釈を示す加藤。スマイスの大作をどう解釈するのか聴きもの。



川畑陽子 3

森下幸路の音楽を最も良く理解している伴奏者だけに、今回のように一般的ではない作品を取り上げる時には絶対、ソリストとしても知られる作品を広めるコンサートに登場。



岸本雅美 5

ボッセ指揮神戸室内楽団、新日フィルとの共演でも「天衣無縫のモーツァルティン」と改めて実感させてくれた岸本。その持ち前の歌心でこれらの作品でどのように発揮するのか楽しみだ。



小山実雅恵 2

日本を代表するピアニストとして最も活発な演奏活動を行っている小山が、独奏者・室内楽奏者としての忙しいスケジュールを縫って出演。川本とのデュオは5年ぶりとなる。



佐々木京子 6

どちらかといえば優れた室内楽奏者として知られている佐々木だが、ここ数年間に独奏者としても東京文化会館小ホール、保谷こもれびホールなどでリサイタルを行い絶賛された。



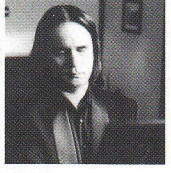
佐々木祐子 6

ヴァイオリニスト、瀬崎明日香とのリサイタルでもバリ音楽院留学の成果をしっかりと印象つけた若手ピアニストの成長株。今回は姉の連弾パートナーとしてゲスト参加。



高橋多佳子 7

音楽に対して常に自然体で接することの出来る高橋。それゆえにパツェヴィッチとパダルジェフスカを同じプログラム内で弾くという難題も見事に解決してくれるはず。



武久源造 8

クラヴィコードからモダン・ピアノまで様々な楽器を自由自在に扱っての幅広い活動で人気を博している武久。今回はモダン・ピアノでファニーの代表作を弾く。



仲道祐子 12

1996年紀尾井ホールでのデビュー・リサイタル以来、ソリストとして室内楽奏者として、派手さはないがイマジネーションの豊かさ、センスの良さを随所に感じさせる。



広瀬悦子 9

周到に考えられたプログラムをその圧倒的なテクニックとともにこなす広瀬。今回は「ピアノのワルキューレ」とも呼ばれ、自由奔放に生きたカレニョの作品に取り組む。



宮谷理香 4 7

もはやショパンに限定せずそのレパートリーを精力的に広げる宮谷。様々なアーティストたちとの室内楽活動とともに充実の時を迎え、本格派への道を着実に歩んでいる。



森下 唯 8

アルカンの作品研究と演奏に情熱を燃やす森下の演奏には、他のピアニストとは一味違ったセンスが随所に感じられる。彼が神童時代のクラの作品をどう読み解くのか興味津々だ。



山田武彦 1 6

豊富なアイデアとそれを具現化する恐るべき能力。聴衆の度肝を抜く山田のリサイタルを体験したら、追いかけるにはられない。果たしてファンクをどう料理するのか?



リサ・ユイ 9

楽器の歴史・演奏・文化にも精通したニューヨーク在住のピアニスト。活発な演奏活動の傍ら、ジュリアード音楽院などで教鞭をとるとともに、数々のコンサート企画も行っている。



吉岡優子 5

女性作曲家の作品に積極的に取り組んでいるピアニスト。知られざる作品を広める会のコンサートや活動においても大変重要な役割を果たしている。



若林 顕 10

その幅広い活動の中でも、若林のブラームスに対する並々ならぬ情熱に着目。この作曲家と同時代を生きた親交のあったル・ボアのピアノ曲に今回初挑戦。



鷺宮美幸 6

室内楽の演奏・録音を数多くなし、吉田隆子「ヴァイオリン・ソナタ」をはじめ知られざる作品も積極的に紹介してきた鷺宮。2004年に松井公民館で聴いた独奏も見事だった。

弦楽器奏者



小林美恵 (vn) 2 12

まさに円熟の境に達した小林のソロはいつ聴いても刺激的。2003年3月バリの日本文化会館における「日本人女性作曲家5人とタイユフェール」でも白熱の演奏を聴かせた。



森下幸路 (vn) 3 5

演奏レパートリーへの独特のこだわり、持ち前の歌に対するセンスの良さが聴衆を魅了する森下。自らのリサイタルでも取り上げたピーチを中心に新しい世界に果敢に挑む。



川本嘉子 (va) 2

1995年のリサイタルでクラークの「ソナタ」を取り上げて以来、この作曲家にこだわり続けている川本。息の長いメロディに感情をこめて歌うときの魅力がここでも発揮されるはず。



江口心一 (vc) 1

ひとつひとつのメロディにごく自然な表情を付ける音楽性が魅力の江口。昨年2月25日作曲家没後100年の命日に奏したアレスキー「ピアノ三重奏曲第1番」も絶品だった。



長谷川陽子 (vc) 2 12

昨年秋の神戸学院大学におけるリサイタルではルークやミヤスコフスキーのソナタを取り上げるなど、有名曲ばかりでなく知られざるレパートリーにもしっかり取り組む。



景山梨乃 (hp) 11

昨年11月に草加市で開催された第18回日本ハープコンクール、アドバンス部門において圧倒的な成績で優勝した17歳。ドゥシェックとルニエはその際に奏した折り紙つき。



尾尻雅弘 (g) 11

ギターに対する独自の哲学を持ち、知られざる作品の演奏にも意欲的に取り組んでいる尾尻。今回はジュリアーニなどで19世紀ギターも使用する予定。

管楽器奏者



立花千春 (fl) 1

多士済々の日本フルート界にあっても、ロマン派作品において豊かに情感をこめてフレーズしていく彼女は最も魅力的な存在。山田との息の合ったアンサンブルが楽しみ。



糸井裕美子 (cl) 1

芸大フィルハーモニアをはじめとするオーケストラのメンバーとして常に堅実な演奏を聴かせる糸井。彼女の室内楽に接する機会は少ないのでこれは注目。



有馬理絵 (cl) 2

日本酒に譬えるなら「月の輪」のように昔風なコクのある豊かな音色を聴かせてくれる有馬。クラークでの川本との共演は5年ぶりになる。

弦楽四重奏団



カルテット・エクセルシオ 4

西野ゆか (1st vn)
山田百子 (2nd vn)
吉田有紀子 (va)
大友雅 (vc)

現代日本を代表する弦楽四重奏団。第一生命ホールでの「ラボ・エクセルシオ」では世界各地の滅多に演奏されない弦楽四重奏曲を取り上げ、好評を博した。

[楽器略号]
vn = ヴァイオリン g = ギター
va = ヴィオラ fl = フルート
vc = チェロ
hp = ハープ cl = クラリネット

Women Composers' Festival 2007

(演奏者の詳細なバイオグラフィーは当日のプログラムに掲載されます)

●知られざる作品を広める会

音楽の歴史を振り返ってみても、魅力的な音楽作品が忘却の淵に沈んでしまうというケースは多々あります。ましてや今日のような高度情報化社会になればなるほど、却って画一的な価値観が押し付けられ、クラシック音楽が本来持っている多様性が失われがちです。有名作曲家の作品は微に入り細にわたり研究・演奏されるようになる一方、知られざる作曲家は無名であるという理由だけで演奏家・聴衆から排除されてしまいます。

「知られざる作品を広める会」は有名・無名を問わず、優れた演奏家の方々に協力いただき、そうした作曲家たちの忘れられてしまった作品の価値をもう一度、実際の演奏を通して判断していただく企画です。

皆様の参加を心よりお待ちしております。

〔知られざる作品を広めるコンサート、これまでの演奏会記録〕



(1) レベッカ・クラークとアンリエット・ルニエ

2002年7月9日、東京文化会館小ホール
出演：川本嘉子 (va)、吉野直子 (hp)、
小山実雅恵 (pf)、有馬理絵 (cl)



(2) ギター作品で知られる作曲家たちのピアノ曲と室内楽 (現代ギター社GGサロン)

- 第1回「アレクサンデル・タンスマン」2003年1月25日
出演：川畑陽子 (pf)、江口心一 (vc)
第2回「マリオ・カステルヌオーヴォ・テデスコ」2003年3月8日
出演：三好優美子 (pf)、有馬理絵 (cl)
第3回「マヌエル・ボンセとA.タンスマン」2003年4月26日
出演：小柳美奈子、川畑陽子 (pf)、森下幸路 (vn)



(3) セイシャス・プロジェクト 2004

- 第1回「カルロス・セイシャス生誕300年記念バースデーコンサート」
2004年6月11日、津田ホール
出演：曾根麻矢子 (hpsi)、小林久美、安井優子 (vn)、
川本嘉子 (va)、江口心一 (vc)
第2回「セイシャス：鍵盤楽器のためのソナタ集、出版記念コンサート」
2004年12月4日、トッパンホール
出演：小柳美奈子、三好優美子、谷 真人、岸本雅美、
松谷園子、宮谷理香 (pf)、鈴木理恵子 (vn)



(4) アントン・アレンスキー没後100年記念コンサート (その命日に)

2006年2月25日、トッパンホール
出演：新井博江、川畑陽子、三輪郁、前田拓郎、松谷園子、
宮谷理香、高橋多佳子 (pf)、
横山奈加子 (vn)、江口心一 (vc)



(5) アガーテ・バッケル=グレンダール没後100年記念コンサート(その命日に)

「もしミモザの花が歌うことが出来たら、そこから流れ出る調べは
アガーテ・バッケル=グレンダールの最も愛すべき、親愛なる音楽のようなものだろう」

(エドヴァルド・グリーグ 1907年、グレンダールの訃報に接して)

その代表的な歌曲とピアノ曲とともにノルウェーが誇る女性作曲家を偲ぶコンサート

出演：本島阿佐子 (ソプラノ)、三輪 郁、新井博江 (ピアノ)

〔ピアノ曲〕

民話組曲《ブローフィエッレ山にて》作品44
3つの小品作品15
幻想小曲集 作品36および作品45より

〔歌曲〕

わが心の女王に 作品1の3、蝶々を追って 作品52の4、雪割草 作品42の3、聖ヴァ
ルボルグ祭前夜 作品31の8、夕べは静か 作品3の1、カササギ 作品52の6、ほとり
にて 作品16の2、序曲 作品41の1、菩提樹 作品25の1、あなたがベッドの傍に
いるような 作品27の3、クローバーの野原 作品62、森の館の灰色の鷹 作品2の3、夕
暮れに 作品42の7、いま一度、光を 作品70の1

日時：2007年6月4日(月) 19:00開演(開場18:30)

会場：東京文化会館小ホール (JR上野駅公園口下車、徒歩1分) 全自由席 ¥4,000

◎グレンダールの作品はここで集中的に取り上げますので、「女性作曲家音楽祭2007」ではピアノ1曲しか演奏しません。

どうぞこちらのコンサートもお聴き逃しなくよう。

好評発売中

知られざる作品を広める会 [代表] 谷戸基岩 [連絡先] 〒168-0072 杉並区高井戸東4-12-4-106 TEL 03-3331-4010 / FAX 03-3331-4478

〔女性作曲家音楽祭、アガーテ・バッケル=グレンダール没後100年記念コンサート用参考書籍〕

バロック時代から近代までの女性作曲家について知るならまずはこの一冊。

女性作曲家列伝 小林 緑 編著 (平凡社刊、1999年)

〔その生涯が収められた作曲家たち〕

バルバラ・ストロツィ、エリザベート=クロード・ジャケ=ド・ラ・ゲール、マリアンネ・マルティネス、ルイズ・ファランク、
ファニー・メンデルスゾーン=ヘンゼル、クララ・ヴィーク=シューマン、ポリヌ・ヴィアルド、オギュスタ・オルメス、
アガーテ・バッケル=グレンダール、エセル・スマイス、セシル・シャミナード、エイミー・ビーチ、アルマ・マラー、
ジェルメヌ・タイユフェール、リリ・ブランジェ
日本の女性作曲家 (幸田 延、松島 彝、金井喜久子、吉田隆子、外山道子、渡 鏡子)

音楽祭のスケジュール

■コンサート全体の司会・進行：小林 緑、谷戸基岩

8/6 (月)	time	8/7 (火)
<i>Women Composers' Festival 2007</i> <i>Schedule</i>		
[午後の部] 14:00～16:00 (開場/13:30) ¥1,000 室内楽・器楽コンサート(1) ルイーゼ・ファランク (1804-75) フルート三重奏曲ホ短調作品45 クラリネット三重奏曲変ホ長調作品44 チェロ・ソナタ変ロ長調作品46 フルートとピアノのための協奏的大変奏曲 ●立花千春(フルート) ●糸井裕美子(クラリネット) ●江口心一(チェロ) ●山田武彦(ピアノ)	1	[午後の部] 14:00～16:00 (開場/13:30) ¥1,000 室内楽・器楽コンサート(3) ■様々なヴァイオリン作品 エイミー・ビーチ (1867-1944) ヴァイオリン・ソナタ イ短調op.34、ヴァイオリンとピアノのための小品 メル・ボニス (1858-1937) ヴァイオリン・ソナタ マリー・グランヴァル (1830-1907) 大ソナタ ト短調op.8 ●森下幸路(ヴァイオリン) ●川畑陽子(ピアノ)
	14	
	15	
	16	
◎19世紀半ばのフランスを代表する室内楽作曲家であったファランクの代表的な名作の数々。女性作曲家の室内楽の最高傑作「フルート三重奏曲」で5日間のコンサートは開幕!		◎自らのリサイタルでもビーチを取り上げている森下が3曲のソナタを含め女性作曲家のヴァイオリン曲ばかりで構成した意欲的なプログラム。記念年のグランヴァルの作品にも注目。
17:00～18:00 (予定) 女性作曲家に関する講演会開催予定 (グランサロンにて 入場無料)	17	17:00～18:00 (予定) 女性作曲家に関する講演会開催予定 (グランサロンにて 入場無料)
	18	
[夜の部] 19:00～21:00 (開場/18:30) ¥4,000 室内楽・器楽コンサート(2) レベッカ・クラーク (1886-1979) ヴィオラ・ソナタ、ピアノ三重奏曲、前奏曲・アレグロとバストラール、エピソード、二つの小品、中国のバズル、真夏の月、モルフェウス、古いイギリスの調べによるパッサカリア ●小林美恵(ヴァイオリン) ●長谷川陽子(チェロ) ●川本嘉子(ヴィオラ) ●有馬理絵(クラリネット) ●小山実雅恵(ピアノ) ●仲道祐子(ピアノ)	2	[夜の部] 19:00～21:00 (開場/18:30) ¥4,000 室内楽・器楽コンサート(4) ■様々な弦楽四重奏曲 マッダレーナ・ロンバルディーニ=シルメン (1745-1818) 「6つの弦楽四重奏曲」より ファニー・メンデルスゾーン=ヘンゼル (1805-47) 弦楽四重奏曲変ホ長調 テレサ・ガレーニョ (1853-1917) 弦楽四重奏曲口短調 エイミー・ビーチ (1867-1944) ピアノ五重奏曲嬰ヘ短調op.67 ●カルテット・エクセルシオ ●宮谷理香(ピアノ)
	19	
	20	
	21	
◎知られざる作品を広める会の第1回コンサートはクラークのヴィオラ作品で幕を開けた。その時のメンバーに小林、長谷川、仲道も加わり、クラークの作品をより幅広くじっくり味わっていただく趣向。		◎女性作曲家たちが書いた様々なタイプの弦楽四重奏曲を特集。ビーチの「ピアノ五重奏曲」は彼女の作品復興の大きなきっかけとなった傑作。カルテット・エクセルシオと宮谷の共演は今回が初めて。

◎終了時間はおよその目安です。ご了承下さい。
◎演目・出演者につきましてはやむを得ぬ事情により変更になる場合がありますが、
各回のコンサートのコンセプトが変更になることはありません。

8/8 (水) ピアノ曲マラソン・コンサート第1日	8/9 (木) ピアノ曲マラソン・コンサート第2日
time 11 [午前の部] 11:00~13:00 (開場/10:40) ¥1,000 ピアノ曲マラソン・コンサート(1) ■全体の解説(その他の作曲家たちの作品)と 古典派の作曲家たち 夏の歌(グレンダール)、日本の踊り(カステルヌオーヴォ)、 フランスの花々(タイユフェール)、シシリエンヌ(パラディース)、ほか ●谷戸基岩(解説) ●吉岡優子(ピアノ) ●特別ゲスト: 森下幸路(ヴァイオリン) ソナタ(マルティネス)、ソナタ(アンナ・ボン)、 「魔笛」の主題による変奏曲(アウエルンハマー)、ほか ●岸本雅美(ピアノ) 5	time 11 [午前の部] 11:00~13:00 (開場/10:40) ¥1,000 ピアノ曲マラソン・コンサート(4) ■ドイツの作曲家たち ファニー・メンデルスゾーン=ヘンゼル(1805-47) ピアノ曲集「一年」 ●武久源造(ピアノ) クララ・ヴィーク(=シューマン)(1819-96) 4つの性格的小品op.5、ロマンスと変奏op.3、音楽の夜会op.6 ●森下 唯(ピアノ) 8
13 ◎前半は女性作曲家の様々なピアノ曲についてのレクチャー・コンサート。 後半はハイドンやモーツァルトと同時代の人々の作品を、モーツァルトを得意とする岸本が演奏。	13 ◎それぞれメンデルスゾーンの姉、シューマンの妻として、女性作曲家の中では最も知名度の高い2人。彼女たちの魅力が発揮された作品を武久と森下という個性的な視点を持つピアニストの演奏で。
14 [午後の部] 14:30~17:30 (開場/14:10) ¥2,000 ピアノ曲マラソン・コンサート(2) ■フランスの作曲家たち マリー・ジャエル(1846-1925) 「ピアノ・ソナタ」より、バガテル集、7つの小品、感傷的なワルツ、ほか ●鷺宮美幸(ピアノ) ルイズ・ファランク(1804-75) 華麗な変奏曲op.15、夜想曲op.49、華麗なるワルツop.51、 全調による30の練習曲op.26より ●山田武彦(ピアノ) セシル・シャミナード(1857-1944) ピエレット、エール・ド・バレ、秋、アラベスク、へつらい、ほか ●佐々木京子(ピアノ) ●佐々木祐子(ピアノ、連弾曲) 6 15 ●宮谷理香(ピアノ) 16 ◎この日が150回目の誕生日に当たるシャミナードを中心に、女性作曲家たちの宝庫であるフランスから厳選した3人によるピアノ作品。フランスで学んだピアニスト達が華麗に競演。 17	14 [午後の部] 14:30~17:30 (開場/14:10) ¥2,000 ピアノ曲マラソン・コンサート(5) ■米英ベネズエラの作曲家たち エイミー・ビーチ(1867-1944) 前奏曲とフーガop.81、バラードop.6、ほか ●リサ・ユイ(ピアノ) エセル・スマイス(1858-1944) 自作の主題による変奏曲、ピアノ・ソナタ ●加藤洋之(ピアノ) テレサ・カレニョ(1853-1917) 嘆き! op.17、花かごop.9、テレシータ・ワルツ、バラードop.15、ほか ●広瀬悦子(ピアノ) 9 15 ◎いずれも19世紀半ばに生まれたイギリスおよびアメリカ大陸の作曲家たちの作品。それぞれタイプの異なるピアニストたちの競演で3人の個性の違いをじっくり味わう。 16 17
18	18
19 [夜の部] 19:00~21:00 (開場/18:40) ¥4,000 ピアノ曲マラソン・コンサート(3) ■ポーランドの作曲家たち マリア・シマノフスカ(1789-1831) 夜想曲(変口長調、変イ長調)、ワルツ第1-3番、ポロネーズ、マズルカ、ほか ●宮谷理香(ピアノ) グラジナ・バツェヴィッチ(1909-69) ソナタ第2番 テクラ・パダルジェフスカ(1834-61) 乙女の祈り、叶えられた願い、甘い思い出、マズール ●高橋多佳子(ピアノ) マリア・シマノフスカ 三手のためのワルツ集 ●デュオ・グレイス(高橋多佳子、宮谷理香) 7 20	19 [夜の部] 19:00~21:00 (開場/18:40) ¥4,000 ピアノ曲マラソン・コンサート(6) ■最近注目の作曲家たち ルイーゼ・アドルフ・ル・ボー(1850-1927) 3つのピアノ曲op.1、3つのピアノ曲op.57、ソナタイ短調op.8、 タベの調べop.64、ほか ●若林 顕(ピアノ) メル・ボニス(1858-1937) メリザンド、サロメ、夕暮れに、傷つけられた大聖堂、バラード、ほか ●阿部裕之(ピアノ) 10 20
21 ◎誰でも知っている「乙女の祈り」、ショパンに影響を与えたシマノフスカの「夜想曲」、そして映画「戦場のピアニスト」で有名なシュピルマンが放送初演したバツェヴィッチ「ソナタ第2番」。ショパン国際コンクール入賞者の2人による演奏で。	21 ◎このところヨーロッパで復興運動が顕著なル・ボーとメル・ボニスの作品をそれぞれに最適と思われる2人のピアニストで! マラソン・コンサートを締めくくるに相応しい内容。

8/10 (金)

知られざる作品を広める会のコンサートでは「ピアノ・リサイタルは暗譜能力の品評会ではない」という考えから基本的にピアノ独奏であっても譜面を見て演奏していただいております。ただし譜面を見ながらの演奏は鬱陶しい方にはそれを強制しません。また単にお守りとして譜面を置いておくことも認めております。

[午後の部] 14:00~16:00 (開場/13:30) ¥1,000

室内楽・器楽コンサート(5)

■ ハープ作品とギター作品

ハープ・ソナタ ハ短調、メアリー女王哀歌(コリー=ドゥシェック)、幻想的バラード、小妖精たちの踊り、秋の木の葉(ルニエ)、ほか

●景山梨乃(ハープ)

ペリニアナ第2番作品2の2(ジュリアーニ)、セゴビア(プレスティ)、
「無言歌集」より(シドニー・ブラッテン夫人)、ほか

●尾尻雅弘(ギター、19世紀ギター)

◎ハーピストの愛楽レパートリーであるルニエとドゥシェックの作品を除くと、まず他では耳にすることの出来ないものばかり。弱冠17歳の景山とベテラン尾尻の妙技とともに。

17:00~18:00 (予定)

女性作曲家に関する講演会開催予定

(グランサロンにて 入場無料)

[夜の部] 19:00~21:00 (開場/18:30) ¥4,000

室内楽・器楽コンサート(6)

■ 様々な室内楽

ポリヌ・ヴィアルド(1821-1910)

ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ

セシル・シャミナード(1857-1944)

ピアノ三重奏曲第1番短調作品11

ルイーゼ・アドルフ・ル・ボー(1850-1927)

ピアノ三重奏曲二短調作品15、4つの小品(チェロとピアノのための)

リリ・ブランジェ(1893-1918)

ピアノのための3つの小品

●小林美恵(ヴァイオリン) ●長谷川陽子(チェロ) ●仲道祐子(ピアノ)

◎19世紀フランス楽壇の重要人物だったヴィアルドの珍しい作品。そして演奏・録音されることの多いシャミナードとル・ボーの「ピアノ三重奏曲」で音楽祭を締めくくる。

音楽祭で演奏される主な作曲家たち



マリアンネ・マルティネス

Marianne Martínez
(オーストリア 1744-1812)

5

マリーア・テレジアの治下、ハイデン、ボルボラに学び宗教音楽、鍵盤音楽などに数々の作品を残した。ボローニャのアカデミア・フィラルモニアの会員に推挙されるなど高い評価を得ていた大貴族の女性。



ファニー・メンデルスゾーン=ヘンゼル

Fanny Mendelssohn-Hensel
(独 1805-47)

4 8

弟フェリックスに優るとも劣らぬ才能を持ちながら家族によって公的活動を阻まれた。幸いにも夫の画家ヘンゼル等の支援によりその作品出版を実現。多ジャンルにわたり数多くの傑作を残した。



マリー・ジャエル

Marie Jaëll
(仏 1846-1925)

6

パリ音楽院でアンリ・エルツに学び、夫アルフレードとともにピアニスト・作曲家として活躍。夫の死後、晩年のリストのためにワイマールで作曲の助手を務めた。優れたピアノ教程を残したことで知られる。

テクラ・バダルジェフスカ=バラノフスカ

Tekla Bądarczewska-Baranowska
(ポーランド 1834-61)

7

全世界で愛楽されている「乙女の祈り」によって知られているがその生涯は謎に包まれ、またその他のピアノ曲もほとんど知られていない。今回は全部で4曲を演奏。



エセル・スマイス

Ethel Smyth
(英 1858-1944)

9

婦人参政権運動にも積極的に参加したイギリスの作曲家。オペラを中心に創作活動を展開、歌劇「難船略奪者」はブリテンに影響を与えたことでも知られる。ピアノ曲はライブツィヒ留学時代の所産。



レベッカ・クラーク

Rebecca Clarke
(英 1886-1979)

2

優れた才能を示すものの音楽家になることを反対していた父親から勘当され、ヴァイオリン奏者・作曲家として名を成す。クーリッジ財団の音楽コンクールで作品が二度にわたり2位となるなど高い評価を得た。

●R.クラーク協会ホームページ
www.rebeccaclarke.org



〔予め勉強したい方のためのCDガイド〕

1 Farrenc: Trio, op.45 / Trio Cantabile / Thorofon CTH 2079
Farrenc: Trio, op.44 / Leroy-Trio / Pan Classics 510 085
Musik für Violoncello und Klavier von Komponistinnen des 19. Jahrhunderts
(Farrenc: Cello Sonata, op.46) / Thomas Blees (vc), etc / FSM FCD 97 728

2 Clarke: Midsummer Moon / Michael Ponder (va), etc / Dutton CDLX-7105
Clarke: Piano Trio / Martin Roscoe (pf), etc / ASV CD DCA 932
Clarke: Viola Music / Philip Dukes (va), etc. / Naxos 8.557934

3 Beach: Violin Sonata / Joanne Polk (pf), The Lark Quartet / Arabesque Z6747
Beach: Music for Violin and Piano / The Klugherz-Timmons Duo / Centaur CRC 2312
Mel-Bonis: Violin Sonata / Kai Gleusteen (vn), etc. / Voice Of Lyrics VOL C 342
Boldly Expressive! Music by Women (Grandval: Grande Sonate)
/ Laura Kobayashi (vn), etc / Albany TRQY 372

4 Quartets by Hensel, Mayer & Lombardini / Erato Quartett / cpo 999 679-2
Carreño: Solo Piano and Chamber Works / The Arriaga String Quartet, etc
/ ARTONA (レコード番号の記載なし)
Beach: Piano Quintet / Joanne Polk (pf), The Lark Quartet / Arabesque Z6738

マッダレーナ・ロンバルディニ=シルメン
Maddalena Lombardini-Sirmen
(伊 1745-1818) **4**

ヴェネツィア女子養育院出身、タルティーニの薫陶を受けたヴァイオリニスト。後半生はオペラ歌手としてヨーロッパを広く巡演。その弦楽四重奏曲はジャンル創成期を代表する好例。

ソフィア・コリー=ドゥシェック
Sophia Corri-Dussek
(英 1775-1830?) **11**

音楽家一族に生まれ、当初歌手として活躍したが、夫のドゥシェックからハーブの手ほどきを受けた。結婚生活は10年足らずで終わるがその間に夫妻それぞれの手にした作品が産み出された。



マリア・シマノフスカ
Maria Szymanowska
(ポーランド 1789-1831) **7**

ショパン以前に国際的な活躍をしたポーランドを代表するピアニスト・作曲家。そのピアノ作品、とりわけ「夜想曲」は後の時代の作曲家たちに大きな影響を与えたことで知られている。



ルイズ・ファランク
Louise Farrenc
(仏 1804-75) **11 6**

19世紀フランスにおいてその年の最も優れた室内楽作品に贈られるシャルティエ賞を二度にわたり獲得。パリ音楽院で19世紀唯一の女性ピアノ科正教授。夫とともにフランス初の歴史的鍵盤音楽集成を校訂出版。

クララ・ヴィーク (=シューマン)
Clara Wieck (=Schumann)
(独 1819-96) **8**

19世紀を代表するドイツの女性ピアニスト。ローベルト・シューマンと結婚するまでは作曲家としても積極的に活動していた。今回は神童時代のピアノ作品を取り上げる。



ポリヌ・ヴィアルド
Pauline Viardot
(仏 1821-1910) **12**

有名なおペラ歌手というだけでなく、ショパン、リスト、フォーレ、ツルゲーネフ、サン・ド、ドラクワ、ハイネら当時の音楽家・文化人たちに多大な影響を与えた芸術家。



シドニー・ブラッテン夫人
Madame Sidney Pratten
(独 1821-95) **11**

高名なフルーティストであった夫とともにイギリスを中心に活躍した19世紀を代表するギタリストの一人。いくつかのギター教本を記したことで知られている。

マリー・グランヴァル
Marie Grandval
(仏 1830-1907) **3**

フロトーやサン=サーンスに学び、グランヴァル子爵と結婚後は様々なペン=ネームを使い分け作曲。オペラやオペラ・コミックなど10曲をはじめ、宗教曲、歌曲、室内楽など多ジャンルにわたる作品を残す。



ルイーゼ・アドルファ・ル・ボー
Louise Adolpha Le Beau
(独 1850-1927) **10 12**

15歳から作曲を始め、ラインベルガー、リスト、ブラームスらに認められミュンヘン、後にバーデン=バーデンを中心に活躍。ほぼあらゆるジャンルに作品を残した。近年室内楽を中心に楽譜が次々と再版されている。



テレサ・カレニョ
Teresa Carreño
(ベネズエラ 1853-1917) **4 9**

幼くして楽才を示しニューヨークでゴッショークに師事。同地にて10歳でリサイタルを開いた後ヨーロッパに渡り、パリ、ベルリンを本拠地にピアニスト・歌手・作曲家として大活躍。ロッシニ、リストらに賞賛される。



セシル・シャミナード
Cécile Chaminade
(仏 1857-1944) **6 12**

19世紀末から20世紀初頭にかけて、フランスおよび英国・米国で絶大な人気を誇った作曲家・ピアニスト。愛好家のクラブが次々に生まれ、その名を冠した石鹸が発売されるほどの音楽は尽きぬ魅力に溢れている。

メル・ボニス
Mel Bonis
(仏 1858-1937) **3 10**

パリ音楽院でドビュッシーと同級生。優秀な成績を収めたが父の命令により退学・結婚を余儀なくされ、10年間のブランクの後、作曲活動に復帰し、数多くの作品を残す。1990年代後半から復興運動が盛んになる。
●ホームページ
<http://www.mel-bonis.com/>



エイミー・ビーチ
Amy Beach
(米 1867-1944) **3 4 9**

神童として活躍するが、結婚とともに演奏活動を停止し、家庭でもできる作曲活動に専心。夫の死後、演奏活動を再開。初めてヨーロッパを訪れ成功を収める。アメリカで最初に交響曲を書いた女性としても知られる。



アンリエット・ルニエ
Henriette Renié
(仏 1875-1956) **11**

8歳から名手アッセルマンにハーブを師事。やがて国内外で評判となるものの師から嫉まれ、嫌がらせを受ける。そんな逆境にもめげず数多くの傑作を残しハーブ音楽の新しい地平を拓いた。教育者としても優れた門下生を輩出。



アガテ・バックル=グレンダール
Agathe Backer-Grøndahl
(ノルウェー 1847-1907) **5**

ノルウェーを代表する作曲家のひとり。女性作曲家の実力を予め確認させたい方はぜひ6月4日のコンサートにお出かけ下さい。最終面参照

リリ・ブランジェ
Lili Boulanger
(仏 1893-1918) **12**

作曲家の登竜門であるローマ大賞を獲得するなど優れた才能を発揮するが肺結核のため夭逝。クラシック音楽界の優れた指導者となった姉ナディアが作品の復興運動を積極的に推し進めた。



グラジナ・バツェヴィッチ
Grażyna Bacewicz
(ポーランド 1909-69) **7**

4曲の交響曲、それぞれ7曲のヴァイオリン協奏曲、弦楽四重奏曲をはじめ数多くの作品を残した20世紀ポーランドを代表する作曲家。ヴァイオリニスト・ピアニスト・小説家としても活躍した。



イダ・プレスティ
Ida Presti
(仏 1924-67) **11**

8歳にしてギタリストとしてデビュー、13歳でパリ音楽院に招かれ演奏。旅行先のアメリカで動脈瘤出血のため42歳で逝去するまで第一線で活躍した。夫アレクサンドル・ラゴヤとのギター=デュオでも有名。

[より詳しい解説は当日のプログラムに掲載されます]

5 Anna Bon : Sei sonate per il cembalo / Paule van Parys (hpsi) / Pavane ADW 7338
Martinez : Sonatas (E major, A major) / Monica Jakuc (fp) / Titanic Ti-214

6 Marie Jaëll : Œuvres pour piano / Alexandre Sorel (pf) / SOLSTICE SOCD 156
Marie Jaëll : Sonate pour piano / Alexandre Sorel (pf) / SOLSTICE SOCD 172
Louise Farrenc : Piano Works / Konstanze Eickhorst (pf) / cpo 999 879-2
Piano Music by Cecile Chaminade vol.1-3 / Peter Jacobs (pf)
/ Hyperion Helios CDH 55197, CDH 55198, CDH 55199

7 Maria Szymanowska : Album / Carole Carniel (pf) / Ligia Digital Lidi 0103135-04
Maria Szymanowska-Wołowska : Inspiration to Chopin / Karina Wisniewska (pf)
/ Musica Classic 780024-2
Grażyna Bacewicz : Piano Works / Ewa Kupiec (pf) / händsler CLASSIC CD 93.034

8 Clara Schumann : Complete Works for Piano / Jozef De Beenhouwer (pf) / cpo 999 758-2
Fanny Mendelssohn-Hensel : The Year / Lauma Skride (pf)
/ Sony Classical 88697030162

9 Amy Beach : Solo Piano Music vol.1-3 / Joanne Polk (pf)
/ Arabesque Z6693, Z6704, Z6721
Ethel Smyth : Complete Piano Works / Liana Serbescu (pf) / cpo 999 327-2
Teresa Carreño : Klavierwerke / Alexandra Oehler (pf) / Ars Musici AM 1258-2

10 Luise Adolpha Le Beau : Klavierwerke / Madeleine Stucki (pf) / Relief CR 971041
Mel Bonis : Pièces pour piano / Luba Timofeyeva (pf) / Voice Of Lyrics VOL C 341

11 Harp Showpieces (Dussek : Sonata) / Judy Loman (hp) / Naxos 8.554347
Renié : Œuvres pour harpe / Xavier de Maistre (hp) / Harmonia Mundi HMN 911692

12 Iwan Turgenjew : Das Lied der triumphierenden Liebe (Viardot : Sonatine)
/ Ulf Schneider (vn), etc. / Ars Musici AM 1400-2
Louise Adolpha Le Beau : Kammermusik / Thomas Blees (vc) etc. / FSM FCD 97 209
Chaminade : 2 Piano Trios / Tzigane Piano Trio / ASV CD DCA 965
Woman's Work Music for solo piano (Lili Boulanger : Trois Morceaux pour piano)
/ Charlotte Mueller (pf) / MSR Classics MS1160